

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 28-012

PDCA	事務事業名	明るい青少年都市推進事業	部課等名	教育部生涯学習課 生涯学習担当	担当	鈴木	
					内線等	23-7341	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節：第1節 子育て・子育て支援の推進 基本施策：4. 青少年健全育成 単位施策：(1) 青少年健全育成活動 個別施策：①団体の支援と連携					
	根拠法令等	半田市明るい青少年都市推進本部設置規則					
	対象・目的	次代を担う青少年が心身ともに明るく健やかに成長するため、青少年健全育成活動を推進する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	青少年問題協議会で決定された基本方針に沿って、明るい青少年都市推進本部が家庭・学校・地域と連携して、街頭啓発活動や親子ふれあい事業などを展開する。また少年を守る会を始めとした青少年健全育成団体の活動を支援するため助成を行う。市内巡回を実施し、青少年の問題行動の早期指導により、少年の非行防止と被害防止に努める。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①青少年問題協議会開催回数	2	2	2	回	
		②青少年健全育成活動補助金の交付団体数	27	25	24	団体	
		③青少年健全育成による街頭啓発活動回数	2	2	0	回	
		事業費	3,043	3,217	1,919	千円	
		人件費	2,811	3,726	6,831	千円	
		総事業費	5,854	6,953	8,750	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①青少年問題協議会開催コスト	47	58	15	千円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		家庭・学校・地域・その他関係機関と連携をし、子どもが安心して健やかに成長できるよう地域ぐるみでの取り組みを実施し、青少年の健全育成を推進する。	実績値	—	—	—	
			目標値	—	—	—	
			実績値				
			目標値				
		実績値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	低い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	C					
		新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、明るい青少年都市推進本部として他の行政機関や家庭・学校・地域と連携して、街頭啓発活動を実施することはできなかったが、子ども110番の家に協力いただいている施設等に出向き、プレートの貼り換えをはじめ最近の地域の情報を共有しながら子どもたちの安全を見守ることはできた。また、少年を守る会が行う親子ふれあい事業等は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できないケースもあったが、それ以外の青少年に関わる活動・事業は補助金を通して支援することができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	引き続き家庭・学校・地域のほか警察や関係機関と連携し、青少年の非行や犯罪を未然に防ぐ。社会情勢の変化による青少年の行動パターンに対応していくため、少年を守る会のあり方や青少年健全育成活動補助金の見直しを行い、新たな施策展開につなげていく。				
		令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位
			家庭・学校・地域・その他関係機関と連携し、子どもが安心して健やかに成長できるよう地域ぐるみの取り組みを実施し、青少年の健全育成を推進する。				